

EVリユース電池を活用した蓄電システム “Bluestorage”の初号機稼働について

- リユース電池で実現する脱炭素社会と循環型経済、新しいエネルギーシステム構築 -

2021年6月29日

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井敬太、以下「伊藤忠商事」）は、リチウムイオン電池事業取組の一環として、EVリユース電池を活用した蓄電システム“Bluestorage”の初号機を、山口県のパートナー会社工場で稼働開始いたしました。今後需要拡大が見込まれる、再生可能エネルギー発電と組み合わせた電力用途や、産業におけるエネルギーマネジメント用途などに向けて、競争力のある中・大型蓄電システムの提供を行なっていくとともに、リサイクルを含めたライフサイクルアセスメントを意識した新たなビジネスモデルの構築を推進していきます。

リチウムイオン電池は、充放電を繰り返すにつれて満充電時の容量であるState of Health（以下「SOH」）が徐々に減少します。一般的にSOHが80%程度まで下がると車載用途に適さなくなるとされていますが、多岐にわたる運転環境下での動作が求められる車載用途に比べ、定置用途では環境が安定しているため、EVから取り外した電池でもまだ十分に使用可能であり、リユース価値が残されています。この点に着目し、中国でEV用電池のリユース・リサイクル事業を手掛けるShenzhen Pandpower社（本社：中国深圳、董事長：王海濤）と2019年に資本業務提携を行い、EVリユース電池を活用した蓄電システムの開発を行なってまいりました。

現在、再生可能エネルギーの普及や、自然災害に対するレジリエンス向上・BCP対策の観点から、中大型蓄電システムへのマーケットニーズが高まっております。また、リユース電池は新規CO2排出を考慮する必要がなく、資源の有効活用や環境への配慮にも繋がります。

伊藤忠商事は、Bluestorage初号機稼働で新たに培われる知見も併せ、国内外において脱炭素社会と分散型エネルギー社会の実現に向け取り組んでまいります。

説明動画

URL：[https://www.itochu.co.jp/ja/files/Bluestorage\(JP\).mp4](https://www.itochu.co.jp/ja/files/Bluestorage(JP).mp4)



Bluestorage初号機



大型モデルイメージ（20フィートコンテナ級）



太陽光発電と組み合わせた用途イメージ